

関節症状を有するベーチェット病患者の多施設後向き症例集積調査

2015年4月1日から2017年7月31日までにベーチェット病で受診した患者さん

研究協力のお願い

当科では厚生労働省ベーチェット病調査研究班（事務局：横浜市立大学眼科）として「関節症状を有するベーチェット病患者の多施設後向き症例集積調査」を全国6の施設と共同で研究を行うこととなりました。研究目的や研究方法は以下の通りです。本調査で用いた情報は厚生労働省ベーチェット病調査研究班（事務局：横浜市立大学眼科）を經由して研究代表施設の北里大学へ提供させていただきます。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

（1）研究の概要について

研究課題名：関節症状を有するベーチェット病患者の多施設後向き症例集積調査

研究期間：2018年7月23日（倫理委員会承認日）～2020年3月31日

当院における研究責任者：日本医科大学付属病院 リウマチ膠原病内科 岳野 光洋

（2）研究の意義、目的について

ベーチェット病患者の約5割に関節炎が生じますが、ときに難治化し、その治療方法は確立していません。これまでの関節症状に対する治療方法を専門施設で解析し、その治療方法を確立し、指針を示すことを目的とします。

（3）研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類および外部機関への提供について）

2015年4月1日から2017年7月31日まで日本医科大学付属病院リウマチ膠原病内科にベーチェット病で受診した患者さんについて、以下の情報を収集、使用します。

試料：なし

情報：年齢、性別、発症年齢、罹病期間、嗜好歴、ベーチェット病の主症状、副症状の有無、関節症状の出現日、臨床検査所見、画像所見、治療内容および関節症状の経過

厚生労働省ベーチェット病調査研究班（事務局：横浜市立大学眼科）を經由して研究代表施設の北里大学へ提供させていただきます。

（4）共同研究機関（試料・情報を利用する者の範囲および試料・情報の管理について責任を有する者）

研究代表機関：北里大学病院

研究全体の責任者：北里大学病院 膠原病感染内科 東野俊洋

その他の共同研究機関：帝京大学医学部附属病院、東京医科大学附属病院、産業医科大学付属病院、聖マリアンナ医科大学附属病院、横浜市立大学医学部附属病院、日本医科大学付属病院、北里大学病院の関連施設

（5）個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

（6）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌、厚生労働省科学研究費報告書などで公表します。

（7）当院（大学の場合は本学）における問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 リウマチ膠原病内科 岳野 光洋

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：6553

メールアドレス：m-takeno@nms.ac.jp

